

1. 日 時 平成25年6月13日(木) 16時29分開会
16時52分閉会
2. 場 所 議場
3. 出席委員 石澤正彰委員長、出口徹裕副委員長、仮屋園一徳委員、
竹原恵美委員、松元薫久委員、牛之濱由美委員、
中面幸人委員、濱崎國治委員、野畑直委員、大田重男委員、
牟田学委員、岩崎健二委員、鳥飼光明委員、山田勝委員、
木下孝行委員
4. 事務局職員 議事係長 牟田 昇、議事係 寺地 英兼
5. 会議に付した事件
○市民交流施設(仮称)建設について、市民の生涯学習、多様な
芸術文化活動等の拠点として、その望ましいあり方についての
調査・検討
6. 議事の経過概要
別紙のとおり

審査の経過概要

市民交流施設建設特別委員長(石澤正彰委員)

ただいまから、市民交流施設建設特別委員会を開会します。

先の委員会では施設の立地場所について中間報告を行うこととし、6月11日の本会議で中間報告を行ってきたところでございます。また、当初で調査するとした項目についての調査は終了し、本日は総括して意見をお伺いしたいと思います。

なお、前会資料要求のありましたものについては配付してありますので、お手元に配付してございますので、よろしく願いをいたします。

それでは、これまで調査した項目も含み、総括して御意見をお願いいたします。

竹原恵美委員

まとめて要望を出していきたいと思っております。施設についてです。ホールは400席を私は適正な数と考えます。理由ですが、阿久根市及び近隣のホールの利用状況、資料提供ありましたけれども、阿久根の中では90%は400人以下の利用である。600人以上の利用施設の内訳がありますけれども、音響施設が必要でない利用がほとんどです。すべてです。そして、千席以上でなければ大物と呼ばれるプレイヤーのチケットが高額になって公演料にならない、運営できないということは研修で学びました。チケットの販売枚数と価格のバランスがとれず、千席以下であるならば、もともとホールが千席以下であるならば地元のプレイヤー向けに施設をちょうど適した規模に特化するべきであると思っております。そして、理由のもう一つ、人口減少の予測データを確認しました。近隣も同じように同じように落ちていきます。以上から400席設置のホールにし、400席以上必要な場合は公演は体育館の利用を推進していきたいというふうに思います。

二つ目、華美な施設は不用だと思っております。研修、いろいろ見ましたけれども、ガラス張り、エアコンを多く必要とします。水を使った噴水、池、流水のオブジェ、これらは特に経費がかかり、デザイン性に重点を置かないような施設にぜひしていただきたいです。

三つ目、トイレの配置に気をつける。チケット切りより奥にあると、公演時間、開演時間前に並ぶ人は利用ができない。複合施設の場合は出入り口に一つだけで数が少ないなど、利用者の動線に配慮が必要です。これが既存の施設ではなかなかできていないことが確認できてます。

四つ目、トイレです。ウォシュレットを設置してください。ですが、公演がないとき電気がオフできる。オン、オフができるようなつくりをしていただきたい。

五つ目、廊下の表示板は壁に直角に取りつけ、飛び出させるように設置してください。

六つ目、間接照明ではなく、直接照明を有効に使ってください。

七つ目、裏の搬入口は扉は大きく、段差がないように設置してください。

八つ目、いすの幅は十分にとること。可動式、スライド式のいすは使わないこと。これは20年ごとに大きな経費をかけてチェックが必要となります。

9番目、エアコンは部屋ごとの利用者のコイン式にしてください。

10個目、職員の専門分野の補佐として、設計から建設までの補佐員の設置をお願いします。音響など、市の担当職員はチェックができない専門分野に関して、設計、建築段階においてはコンサルタントや建築会社が優位に進み、不当な価格やホールの機能が低いことをくいとめることができなかった例は多々あります。阿久根市民の専門職の中から職員の専門分野の補佐として、設計から建築までの補佐員をつけることを要望します。設計書確認や打ち合わせの立ち会い、現場立ち会いなどです。先日、ごみ問題で水俣に行きましたけれども、その中で職員との話で、ねじ一つから、監査員一人から単価が全く違う。そこについては市職員はプロではないので見る力がありません。だから、おすすめはこれからつくるのに対してはコンサルタント、別途立てたほうがいいですよという提案もありました。単価が違う、設計が違う実態が表に出てこない。それを見切る力が市職員はプロではないのでできませんから、そこには補佐員をおすすめします。市民から先日市長に紹介もあったことも私は把握しておりまして、ホール音響に対しては、ドコデン光さんという富永さん、出水中央高校福島玲士先生がこの地域では活動していらっしゃるふうに聞いております。紹介は市長にされております。

備品運営についてです。1、グランドピアノや備品です。地元プレーヤー向けとしてホールを特化したところに合わせて、地元プレーヤーとしての品質を購入してください。品質価格を購入してください。ホールの規模によってピアノは違ってきます。また、ピアノの移動器具など、運営上必要な備品は購入漏れのないようにしてください。

二つ目、施設の運営はNPO法人も視野に入れてください。

三つ目、収益性のある施設運営を心がけてください。

四つ目、利用者へ市内、市外へ事前広告。1年前から広告を打っている市もありました。今、見るのでちょうどいいのは川内市の文化ホールなどはとてもいいホームページを開いています。今も皆さん確認ができますけれども、備品一つ、マイク一つから単価も上げている。部屋の広さもあげています。このような先手を打った運営をしていただきたいと要望します。以上です。

市民交流施設建設特別委員長（石澤正彰委員）

竹原委員から要望を含めた意見がございました。ほかに御意見がございましたらお願いいたします。

松元薫久委員

中間報告で委員長のほうから報告していただいたんですが、若干ですね、不満というかですね、強く要望した鶴見川、大橋川の改修工事も合わせてということだったんですが、委員長報告の中で、といった意見があったみたいなので、すごくふんわりしたニュアンスになっていたのも、やっぱりここでもう一度念押ししておきたいなと思ったことで、もう一度おんなじことなんですけど、現在地に建設するのであれば、あそこら辺の水害対策もきっちり鶴見川、大橋川やっていただきたいと、ここでも強く要望させていただきます。

市民交流施設建設特別委員長（石澤正彰委員）

はい、わかりました。
ほかにございませんか。
[発言する者あり]

濱崎國治委員

先ほど座席数の400という意見がございましたけれども、私は建設委員会の意見があったということで、600席から800席で、かつ執行部のほうにですね、状況を加味してされるのに私は賛成します。また、隣接の市町村の方にも来てもらうといういろんなのを考えればですね、400席ではとてもというのもあります。ましては新しい施設ができればまた集客というのが向上するんじゃないかなという気もしますので、そういうことを考えます。施設全体については管理しやすいようなですね、あるいは省エネ対策をするのは当然積極的に取り入れるべきだということはいうまでもないと思います。以上です。

市民交流施設建設特別委員長（石澤正彰委員）

ほかにございませんか。

仮屋園一徳委員

今さっきですね、松元委員からの要望で大橋川、鶴見川とあったんですが、大橋川についてはですね、二級河川で改修が終わっているというのが、国道3号線、おれんじ鉄道、あそこまでは改修が終わってるというふうに思ってるんですけど、あと、大橋川で何か改修の。

[発言する者あり]

消防署から鶴見川なんですよね。そこをちょっと確認したかったものですあら。

[発言する者あり]

鶴見川だけでいいのかなと思って。もし、それでよければ回答とかそれはいいんですけど。

[発言する者あり]

市民交流施設建設特別委員長（石澤正彰委員）

仮屋園委員の今のお話しは了解をいたしました。

牟田学委員

先の一般質問でですね、竹原委員が言われた席数の件であります、建設委員会に対してですね、きょう、この資料はもらったんですけど、出水市の文化会館とかいろいろ利用状況。たぶんこれを出してないと思うんですよね。出している。

[発言する者あり]

ないでしょう。だから、もう1回ですね、建設委員会に対してもこの資料を届けてですね、実際、僕も500席ぐらいでいいと思いますよ、この状況を見れば。だから、そこ辺りでこういう資料を実際教育委員会は建設委員会に出してないということですから、こういうのをもう1回踏まえてですね、私もこの資料を見る限り客席のいすは500程度でいいのかなという思いがあります。以上で。

中面幸人委員

ちょっと確認したいんですけども、きょうは総括になっておりますけれども、今、それぞれ皆さんから意見が出ますよね、委員から。例えば、この特別委員

会としてそれぞれいろんなことをまとめてしまうとか。ただ、これはただ一委員としての意見として、いわば報告するのか。その辺あたりどうなってるんですかね。そこら辺でやっぱり相当変わってくると思うんですけどね。

市民交流施設建設特別委員長（石澤正彰委員）

今、中面委員の発言ですけれども、とりあえず委員会としてですね、特別委員会として最後まで皆さんの意見は聞かなければいけませんのでね、総括は総括ですけれども、最終的に委員長報告をやらせていただくわけですから、その辺についてこういう意見があったということはすべて明記できるんじゃないかなと思います。

中面幸人委員

この特別委員会として、ある程度の、例えば方向性を、仮にですよ、席数についても今いろいろ意見が出ておりますけれども、今3人の方から出ておりますけれどもですね、きょうですね。統一した、委員会として統一した形を報告するんじゃないなくて、ただそれぞれを委員からこういう意見がありましたよという形で委員長報告をするわけですか。

市民交流施設建設特別委員長（石澤正彰委員）

中面委員、そのように私は思っております。

中面幸人委員

了解です。

牛之濱由美委員

何かいろいろ要望等も出されているようなので、一つ私もぜひ要望としてこういう意見もあるというのをあげていただきたいと思いますけれども、ある文化協会の方からですね、どうせつくってくれるのなら、お金がなかったからといってちやちなものをつくってくれるなという要望もいただいております。それは絶対伝えて欲しいと、行政のほうに伝えて欲しいという意見もあり、また、今文化協会のほうからもぜひ使って欲しいということで寄附金等のほうも基金のほうに入れられていると思いますけれども、この委員会の中で笑い話のようにですけれども、すばらしいそのようなピアノを寄附していただけるような方を、市長、探してこいみたいな話もありましたけれども、阿久根市外でほんとうにこう活躍していらっしゃる方が多々いらっしゃいます。そういう方々へですね、ぜひ阿久根市にこのような市民交流センターをつくりたいんだというような広報活動をして、寄附金をつのるというような形も一つの検討に入れていただければなという要望です。

市民交流施設建設特別委員長（石澤正彰委員）

牛之濱委員、せっかくお金を使ってやるんだから、しっかりしたものをつくって欲しいと。今のは席数も十分にという意見も入っているんですか。

牛之濱由美委員

すべて入ります。

市民交流施設建設特別委員長（石澤正彰委員）

入っているんですね。

山田勝委員

私はいろいろじっと聞いておいてですね、私は600席ちゅうのはね、確保して欲しいと思ってますよ。私どもは実は過去何回かですね、市民会館ホールで

ね、前竹原市長の会をしましたよ。そしたらね、あばかんぐらい来るんだから、ね。だからあばかんぐらい来る会のためにね、やっぱりね、つくつとかないかんのですよ。だから、私は600席ちゅうのはね、やっぱりちゃんと確保しておって欲しいと思いますね。それと、せっかくつくるんですからね、ちゃんとしたものを専門家に委託してですね、私は計画書をずっと見とってですね、あれよりいい考えは私には浮かばんですよ。だから、音響効果もですね、あとから補正予算を組んでしぎいいらんとおぼどれも。今の現在の市民会館はですね、雨漏りがするちゅうのは古くなったからですよ。クーラーが効かない、音響効果が悪い。そういうことばかりで何千万打ち込みましたか、あれに。だからね、せっかくするんだから私どものような知らない人がいろいろ議論をするよりも、ちゃんとした専門家にね、さすがやねというのをつくって欲しい。それと牛之濱委員が言ったようにね、ピアノは何千万とすつとを市長に見ひけてくうごと要望してくいやん、こや。以上。

市民交流施設建設特別委員長（石澤正彰委員）

ほかに。

中面幸人委員

私も14番議員と考え方は同じなんですけれども、例えば今までですね、阿久根の場合はですね、例えば番所丘公園だっても私は中途半端だと思うんですよ、人を集めるためにはですね。だから、せっかく阿久根市の、いわば阿久根自体が交流人口をふやす、そういう政策にとりくんでいるわけですから、ある程度ですね、やっぱり立派、そんなに見ばというところにお金をかける必要はないかもしれませんが、例えば客席とかですね、そういうふうなのについてはやっぱりある程度そういう専門家が答えを出したようなですね、そういうような形のものにつくってもらいたいと。中途半端ちゅうのは私は一番いけないと思うのでですね。例えば、それに見合った、仮に600席、800席のを設置するのであれば、それに見合うような集客を考えればいいんじゃないか。そういうふうにしてもらいたいと、そういう意味でもですね。だから、やっぱり今阿久根がとりくんでいる交流人口をふやすためにもですね、中途半端は私はいけないと思うので、ある程度そういうふうにある程度の集客できるような施設に、席数についてはしてほしいと思っております。

市民交流施設建設特別委員長（石澤正彰委員）

中面委員の意見は中途半端なものはやめる。そういうことですね。だから交流人口をふやすために一生懸命やってるんだったら、それに添ったものをつくれと、それでよろしいですか。

[発言する者あり]

了解しました。

野畑直委員

あまり意見としては変わらないんですけれども、考えも何も言わずにおるのもちょっと変かなと思っております。現在、建設委員会で審議されている内容で私は十分だと思っております。そしてまた、その席数が問題になっておりますけれども、これはまた1カ月間のパブリックコメント等の市民の考え方も入ってくると思いますので、ここで400がいい、500がいい、600がいいではなくて、ある程度そういう意見も踏まえて、考え方としては、やはり私も

600席から800席という数字が出ておりますけれども、そっちのほうがいいのではないかと考えております。以上です。

鳥飼光明委員

みんないろいろな意見が出たようですが、私は今ですね、この資料をもらったので、65歳以上がもう25年は40.9%、こういう資料をもらっております。ということは高齢化が非常に進むのでですね、まあ恐らくどういう建物かわかりませんが、2階以上ができると思うんですが、そういうときにエレベーターとかですね、エスカレーター、こういう配慮をしていただきたいと、2階以上。そうでなければですね、階段を上がるというのは大変な人がいっぱいおりますので、2階以上ある場合は必ずエレベーターなりエスカレーター、そういうのをつくっていただきたい。以上です。

市民交流施設建設特別委員長（石澤正彰委員）

ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

なければ以上で総括を終了いたします。

次に、3のその他に入ります。

委員の皆さんからありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ほかになければですね、ここでお諮りいたします。

以上で市民交流施設建設特別委員会の調査を終了し、議長に対し調査終了の報告をいたしたいと思っておりますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

〔発言する者あり〕

竹原恵美委員

まとめは見せていただけますか。

市民交流施設建設特別委員長（石澤正彰委員）

まとめてからお知らせいたしますので。

異議なしと認め、本委員会の調査を終了することといたします。

また、委員長報告については委員長に御一任願いたいと思っておりますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認め、委員長報告については委員長に一任されました。

以上で、市民交流施設建設特別委員会を閉会いたします。

ありがとうございました。

（散 会 16時52分）

市民交流施設建設特別委員会委員長 石澤正彰